

MT-311 SUMITA 排気ファンメンテナンスについて

2014/10/27

株式会社さいかい産業

寒い季節も始まり、ペレットストーブをつけ始めた地域も数多く見られますが、最近 MT-311 SUMITA の排気ファンが動かない、又は動きが鈍いとの問い合わせを頂いております。原因、対応手順は下記の通りとなります。

【原因】

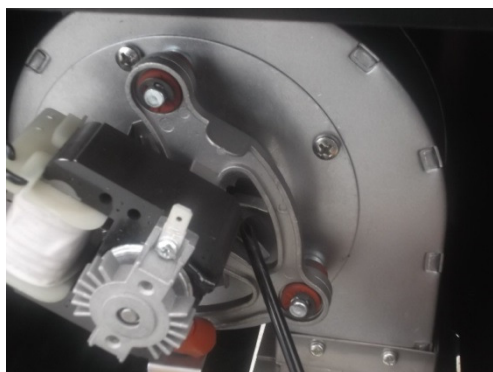
排気ファンケーシング内部に溜まった灰・ススが湿気で固まり、排気ファンの動作を阻害する。



左図のように排気ファンケーシング内に溜まった灰・ススが湿気により固まり、フィンの動作を阻害します。

【対応方法】

・必要道具：＋ドライバー、集塵機



シーズン入りに初めて使う時に回らなくなった場合、室外機BOX外装ふたを開け、露出している冷却用フィン（左図写真）を手で数回回すと動き始める場合が多いです。

上記作業で動作しない場合、室外機BOXを取り外し、排気ファン内部の清掃をしてください。

【予防方法】

シーズンオフ等のメンテナンス時に、排気ファンBOXを取り外して排気ファン内部に溜まった灰・ススを集塵機等で吸い取ってください。

または、室外機BOXの外装ふたを外し、排気ファンを取り外しても同様に作業可能です。

（排気ファンが外せるタイプ）

※作業時は電源コードを抜いてください。